

混沌とした中から

マインドマップ（4）

サブブランチを発想している中で、イメージやアイディアの膨らみそうなものがあった場合はそれをメインブランチの上位に持ってきて別のマインドマップのテーマイメージに持ってくることもできます。また、情報量が多い現代社会で発想を階層化するというやり方は情報の取捨選択に役立ちます。特に膨大な情報量のある資格試験などにマインドマップを利用する場合、階層化するということが効果的な学習方法となります。

ではまず一度マインドマップを作ってみます。その場合最初から大上段に構えて最終的に作ってみようとするもの（仕事に関係することなどや）をメインテーマにするのではなく、例えばショートショートのお話などのように簡単なものをメインテーマに持ってきて作ってみます。もちろんメインテーマは題名です。そして知りたい情報をイメージしてメインブランチにします。次に各メインブランチからイメージするキーワードを拾い出しサブブランチにします。そのあとはブランチを放射状にどんどん描き出していきます。マインドマップには正解がありません。書く人によって内容は変化します。特に初めて書くときはどうすればいいのかわかっていませんから、メインブランチを書いたり消したり、メインブランチからサブブランチを作ったり試行錯誤してみてください。

キーワードはどのように拾い出していけばいいのでしょうか。ポイントはどんどんキーワードを出していくのではなくて内容を通してイメージしたキーワードを描いていくようにすることです。つまり、なんでもいいから思いついたものを出していくのではなくて、1つのメインブランチから連想しながら関連するものを描いていくようにしていく方法です。すべてを出していけばシート上はキーワードだらけになってしまいます。関連性の強いものもあれば薄いものもあります。そこで関連性を考えながらキーワードを出していくようにするのはいいです。しかし、最初からそんなにうまくいくわけがありません。最初はやっぱりいろいろ思いついたものをどんどん出していいと思います。出しながらサブブランチを作りながらマインドマップを作っていくことを繰り返すうちに習得していくテクニックだと思います。また、ブランチが一方向荷だけ伸びてしまうことがあります。これは、最初に選んだテーマイメージが間違っていたかメインブランチがテーマイメージと直結していなかったことが原因と考えられます。つまり、イメージが最初のものからずれてしまっているということで、メインブランチだと考えたものをテーマイメージにして作り直すと、バランスのとれたものになることもあります。マインドマップはバランスよく描くことがルールですから、一方向荷ブランチが伸びるほかにブランチが上下左右でばらばらになってぎっしり詰まってしまうこともあります。これも効果を下げる原因で、マインドマップは空間をうまく生かすことが必要です。詰め込むのではなく空間を含めた全体で見ることが必要で、違うブランチから伸びているキーワード同士が結びついたりすることによって空間から思いついたアイディアが浮かぶこともあります。そのためにもキーワードをあまり詰め込みすぎないことです。

マインドマップは頭の中にあるイメージを、メインテーマを中心にその構成を放射線状に、ビジュアルで表現することによって、新たな発想や複雑に絡んだように見えるものをわかりやすく表現できるものです。そのためにもたくさんのものを詰め込むのではなく空間をうまく生かすことが重要になります。（次回へ続く）

(今週の情報誌から)

○日経パソコン 7月28日号

特集 誤変換を減らす入力技

→日本語入力システムには誤変換がつきもの。まずどのように変換しているかを解説し、変換間違いを少なくする方法、少なくするうまい設定などを解説。

特集 低価格ミニノート大解剖

→7～10インチの液晶を搭載したミニノートが低価格で発売されている。実際作業に使えるものかどうかをしてみる。

○日経システム 8月号

特集 バランス感覚のセキュリティ対策

→過度なセキュリティは効率をダウンさせてしまう。締め付けが厳しくなると抜け道を探すようになってしまう。はじめはそれでもよかったが次の段階はバランス感覚が必要になる。どのような方法があるのか。